

## 安全データシート

改訂日:2024年11月5日

## 1. 製品及び会社情報

製品名  
推奨用途  
会社名  
住所  
電話番号

フタル酸ジエチル  
試験研究用  
米山薬品工業株式会社  
大阪市中央区道修町2丁目3番11号  
(06)6231-3555(大阪・本社)  
(03)3246-2311(東京) (0268)22-5910(上田)  
(052)504-2221(名古屋) (082)537-0290(広島)  
FC0370

整理番号

## 2. 危険有害性の要約

## GHS分類

健康に対する有害性

皮膚腐食性/刺激性: 区分2  
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性: 区分2B  
皮膚感作性: 区分1  
特定標的臓器・全身毒性: 区分3(気道刺激性,麻酔作用)  
(単回ばく露)  
水性環境有害性 短期(急性): 区分2

環境に対する有害性

ラベル要素

絵表示又はシンボル



注意喚起語

危険有害性情報

警告  
皮膚刺激  
眼刺激  
アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ  
呼吸器への刺激のおそれ  
眠気又はめまいのおそれ  
水生生物に毒性

注意書き

【安全対策】  
取扱い後はよく手を洗うこと。  
汚染された作業衣は作業場から出さないこと。  
保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。  
妊娠中、授乳期中の接触は避けること。  
ミスト/蒸気/スプレーの吸入をしないこと。  
屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。  
環境への放出を避けること。  
【救急処置】  
皮膚についた場合は多量の水で洗うこと。  
皮膚刺激または発疹が生じた場合、医師の診断/手当を受けること。  
眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外し、その後も洗浄を続けること。  
眼の刺激が続く場合、医師の診断/手当を受けること。  
汚染された衣類は脱ぎ、再使用する場合は洗濯すること。  
吸入した場合、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。  
気分が悪いときは医師に連絡すること。  
【保管】  
換気の良い場所で保管すること。容器を密閉し、施錠して保管すること。  
【廃棄】  
内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

## 3. 組成、成分情報

化学物質・混合物の区別

化学名

別名

化学式又は構造式

化学物質  
フタル酸ジエチル  
フタル酸エチル  
 $C_6H_4(COOC_2H_5)_2$

化学物質を特定できる一般的な番号  
成分及び含有量  
官報公示整理番号(化審法、安衛法)

CAS RN:84-66-2  
フタル酸ジエチル 100% (純度97%以上のもの)  
(3)-1301

#### 4. 応急措置

吸入した場合	被災者を新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 気分が悪い時は、医師の手当て、診断を受けること。
皮膚に付着した場合	汚染された衣類を脱ぐこと。 多量の水と石鹸で洗うこと。 皮膚刺激又は発疹が生じた場合は、医師の診断/手当てを受けること。 汚染された衣類を再使用する前に洗濯すること。
眼に入った場合	水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 医師に連絡すること。
飲み込んだ場合	口をすすぐこと。 医師の手当て、診断を受けること。
予測できる急性症状及び遅発性症状の最も重要な兆候症状	吸入:めまい、傾眠。 皮膚:該当情報なし。 眼:該当情報なし。 経口摂取:腹痛、吐き気。
応急処置をするものの保護	救助者は状況に応じ適切な保護具を着用する。

#### 5. 火災時の措置

適切な消火剤	アルコール耐性泡消火剤、粉末消火薬剤、二酸化炭素
使ってはならない消火剤	棒状注水
特有の危険有害性	火災によって刺激性、毒性、又は腐食性のガスを発生するおそれがある。 加熱によって容器が爆発するおそれがある。
特有の消火方法	危険でなければ火災区域から容器を移動する。
消火を行う者の保護	消火後も、大量の水を用いて十分に容器を冷却する。 消火作業では、適切な保護具(手袋、眼鏡、マスク等)を着用する。

#### 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置	直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離する。 関係者以外の立入りを禁止する。 作業者は適切な保護具(「8. ばく露防止及び保護措置」の項を参照)を着用し、眼、皮膚への接触や吸入を避ける。
環境に対する注意事項	環境中に放出してはならない。 河川等に排出され、環境へ影響を起こさないよう注意する。 少量の場合、乾燥土、砂や不活性吸収剤で吸収し、あるいは覆って密閉できる空容器に回収する。 大量の場合、盛り土で囲って流出を防止し、安全な場所に導いて回収する。
封じ込め及び浄化の方法及び機材	危険でなければ漏れを止める。 すべての発火源を速やかに取り除く(近傍での喫煙、火花や火炎の禁止。) 排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。

#### 7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	
技術的対策(局所排気、全体換気等)	『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。
安全取扱い注意事項	『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の局所排気、全体換気を行う。 空気中の濃度をばく露限度以下に保つために排気用の換気を行うこと。 接触、吸入又は飲み込まないこと。 この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。 屋外又は換気の良い区域でのみ使用すること。 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。 取扱い後はよく手を洗うこと。 環境への放出を避けること。
接触回避	酸、酸化剤、塩基、還元剤。
衛生対策	取扱い後はよく手を洗うこと。

保管	
安全な保管条件	保管場所は屋根を不燃材料で作るとともに、金属板その他の軽量な不燃材料でふき、かつ天井を設けないこと。 保管場所の床は、床面に水が浸入し、又は浸透しない構造とすること。 保管場所の床は、危険物が浸透しない構造とするとともに、適切な傾斜をつけ、かつ、適切なためますを設けること。 保管場所には危険物を貯蔵し、又は取り扱うために必要な採光、照明及び換気の設備を設ける。
容器包装材料	ガラス
8. 暴露防止及び保護措置	
管理濃度	未設定。
許容濃度	
日本産業衛生学会	5mg/m <sup>3</sup>
ACGIH	TLV-TWA 5mg/m <sup>3</sup>
濃度基準値	8時間：30mg/m <sup>3</sup> 短時間：-
設備対策	高熱工程でミストが発生するときは、換気装置を設置する。
保護具	この物質を貯蔵ないし取扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置すること。
呼吸器の保護具	適切な呼吸器保護具を着用すること。
手の保護具	適切な保護手袋を着用すること。
目の保護具	適切な眼の保護具を着用すること。
皮膚及び身体の保護具	適切な呼吸器保護具を着用すること。
9. 物理的及び化学的性質	
物理状態	油状の液体
色	無色
臭い	無臭
融点・凝固点	-67~-44°C(融点)
沸点又は初留点及び沸点範囲	295°C(101.3kPa)
可燃性	該当情報なし。
爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界	0.7-1.1vol%
引火点	161°C(開放式)
自然発火温度	457°C
分解温度	該当情報なし。
pH	該当情報なし。
動粘性率(粘度)	13mPa・s(20°C)
溶解度	1.080mg/L(水・25°C) エタノール、ベンゼンに易溶
n-オクタノール/水分分配係数	logPow = 2.47
蒸気圧	0.22Pa(25°C)
密度及び/又は相対密度	1.120(25°C/25°C)
相対ガス密度	7.7
粒子特性	該当情報なし。
10. 安定性及び反応性	
反応性、化学的安定性	通常の取り扱い条件においては安定。
危険有害反応可能性	酸、酸化剤、塩基、還元剤と反応する。
避けるべき条件	混色危険物質との接触。
混触危険物質	酸、酸化剤、塩基、還元剤。
危険有害な分解生成物	火災時の燃焼により、一酸化炭素、二酸化炭素などの有害ガスが発生する。
11. 有害性情報	
急性毒性	経口： ラットLD50 値:8600mg/kg 9200-9500mg/kg、500-31000mg/kg に基づき、区分外とした。 経皮： ラットLD50 値： >22400mg/kg及び>11200mg/kg に基づき、区分外とした。 吸入（粉じん）： ラットを用いた試験において511ppmの6時間ばく露(4時間換算値6.95mg/L)で死亡が認められなかったとの記述から、区分外とした。

皮膚腐食性・刺激性		ヒトの皮膚を刺激しないと記述、動物を用いた試験における刺激性は軽微であるとの記述(NTP TR429(1995))があるが、ヒトを対象としたパッチテストで143例中2例に刺激性が認められたとの記述(環境省リスク評価第3巻(2004))、皮膚への付着により皮膚炎及び湿疹が認められたとの記述から、ごく一部のヒトに対してではあるが皮膚刺激性があると判断し、区分2とした。
眼に対する重篤な損傷・刺激性		ウサギの眼に適用した試験において、刺激性はなかったとの記述、ウサギの眼にごく軽度の刺激性が認められたとの記述(CICAD 52(2003))があるが、ウサギの眼を軽度に刺激するとの記述及びヒトの眼に刺激性があったとの記述(NTP TR429(1995))から、区分2Bとした。
呼吸器感受性		データ不足のため分類できない。
皮膚感受性		モルモットを用いたBuehler test、Draize test、Freund's complete adjuvant test、maximization test及びopen epicutaneous testで感受性は認められなかったとの記述(IUCLID(2000))、ヒトを対象としたパッチテストでアレルギー反応は認められなかったとの記述(PATY(4th, 1994))があり、感受性はないと記載されているが、別々の機関によるパッチテストにおいてそれぞれ1例でアレルギー反応が認められていること(ATSDR(1995))から、区分1とした。
生殖細胞変異原性		in vitro 試験のデータしかないため分類できない。
発がん性		ACGIHでA4、EPAでDに分類されていることから、区分外とした。
生殖毒性		ラット及びマウスを用いた妊娠中経口投与試験及び2世代繁殖性試験において親動物に一般毒性が認められる用量でも明確な生殖毒性が認められなかったとの記述から、区分外とした。(環境省リスク評価第3巻(2004))
特定標的臓器・全身毒性-単回暴露		蒸気が気道を刺激するとの記述、吸入するとめまい、感覚鈍麻を生じる(15)との記述、中枢神経を抑制する可能性があるとの記述から、区分3(気道刺激性、麻酔作用)とした。(環境省リスク評価第3巻(2004))
特定標的臓器・全身毒性-反復暴露		ラット又はマウスを用いた経口又は経皮投与試験において区分2のガイダンス値範囲を超える高用量でも毒性作用が認められなかったとの記述から、区分外とした。(環境省リスク評価第3巻(2004))
誤えん有害性		データ不足のため分類できない。
12. 環境影響情報		
生態毒性	短期: (急性)	魚類(ニジマス)の96時間LC50 1200 µg/L 15) から、区分2とした。
	長期: (慢性)	急速分解性があり(BODによる分解度 88%) かつ生物蓄積性が低いと推定される(log Pow = 2.42)ことから、区分外とした。(既存化学物質安全性点検データ)
残留性・分解性		良分解性
生態蓄積性		該当情報なし。
土壤中の移動性		該当情報なし。
オゾン層への有害性		当該物質はモントリオール議定書の付属書に列記されていない。
13. 廃棄上の注意		
化学品、汚染容器及び包装の安全でかつ環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報		産業廃棄物処理認定業者に委託して処理する。
14. 輸送上の注意		
国連番号		—
品名(国連輸送名)		—
国連分類		—
容器等級		—
輸送または輸送手段に関する特別の安全対策		移送時にイエローカードの保持が必要。 食品や飼料と一緒に輸送してはならない。 重量物を上積みしない。 輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。
国内規制がある場合の規制情報		
陸上輸送		消防法の規定に従う。
海上輸送		船舶安全法の規定に従う。
航空輸送		航空法の規定に従う。
応急措置指針番号		—
15. 適用法令		
化学物質管理促進法(PRTR法)		第二種指定化学物質〔フタル酸ジエチル〕

毒物及び劇物取締法  
労働安全衛生法

毒物及び劇物に該当しない。

名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物（第57条及び施行令18条、第57条の2及び施行令18条の2）[フタル酸ジエチル]

皮膚等障害化学物質等及び特別規則に基づく不浸透性の保護具等の使用義務物質[フタル酸ジエチル]

消防法

第4類引火性液体第三石油類非水溶性液体

## 16. その他の情報

引用文献

NITE-CHRIP(製品評価技術基盤機構HP)

17423の化学商品(化学工業日報社)

職場の安全サイト(厚労省HP)

記載内容のうち、含有量、物理／化学的性質等の数値は保証値ではありません。危険・有害性の評価は、現時点で入手できる資料・情報 データ等に基づいて作成しておりますが、すべての資料を網羅した訳ではありませんので取り扱いには十分注意して下さい。